

令和 6 年 6 月 16 日現在

機関番号：62501

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H05734

研究課題名（和文）集団の複合化と戦争

研究課題名（英文）Growing complexity of social groups and warfare

研究代表者

松木 武彦（Matsugi, Takehiko）

国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・教授

研究者番号：50238995

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 40,400,000円

研究成果の概要（和文）：戦争と社会複合化に関わる考古学的データ項目の比較体系化はほぼ完成した。A01モニュメント班およびA02アート班と協力した比較検討の作業は、戦争・モニュメント・アートの各項目の消長と社会複合化プロセスとの関係性をストーリー化することができ、2024年度以降に出版予定の成果本（研究領域全体）に公開する予定である。また、各メンバーは出ユーラシア各地における調査を最終的に完了し、その成果を2025年度刊行予定の本計画研究の成果本に公開するところまで進出した。上記の作業に関して、研究代表者の松木武彦と寺前直人が中心となり、戦争と関連する物質資料の分類と性格を見なおして再定義を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究成果の学術的意義は、人類史における「戦争」という事象を実質的暴力・高度な組織性・経済的要因にのみ限定して復元するこれまでの方法論を脱構築し、暴力の表象を埋め込んだコミュニケーションの痕跡として、それに関する物質資料の発生と進化を世界各地の先史・古代の比較を通じて明らかにし、新たな方法と視点で人類史における「戦争」の変化を明確にしたことである。社会的意義は、以上の作業を通じてヒトと「戦争」の歴史的関わりを明示し、文明発生以前の過去から現代を通じて未来に向けたその変化およびそれとのかかわり方を、背景となった「民族」「宗教」「国家」のあり方と結び付けて考察するための起点を得たことである。

研究成果の概要（英文）：The database for comparing data related to war and social complexity is almost complete. In addition, Fujisawa and Hashimoto contributed to supplement data on the Japanese archipelago. Ichikawa, Sasaki, Watanabe, and Higa, along with research collaborators compiled data for America and Oceania. The comparative analysis in collaboration with the A01 Monuments Group and the A02 Art Group has enabled us to develop a narrative of the relationship between the emergence/disappearance of war, monuments, and art and the developmental process of social complexity. The results will be published in a book series to conclude the Research Area in FY2024. In addition, each member completed their research in the “Out of Eurasia” region, and the results will be published in a book released in FY2025. Based on the works stated above, the principal investigators, Takehiko Matsugi and Naoto Teramae, reviewed and redefined the classification and characterization of warfare-related material evidence.

研究分野：日本考古学・比較考古学

キーワード：戦争 武器 防御施設 認知 表象 コミュニケーション 階層化 社会複合化

1. 研究開始当初の背景

本研究の目的は、ヒト固有の「入れ子状に階層化する多数の集団が複合した巨大な社会」が生み出されたメカニズムとプロセスを、戦争という事象を通じて解明することである。戦争には、武力による征服によって集団間の統合を促す外的・物理的側面だけではなく、戦争という状況の演出によって集団内のアイデンティティを強化し、その感情や表象の操作を通じて強化された権力によって急速な階層化が進むという内的・認知的側面とがある。本研究はとくに後者に力点を置き、戦争に関わる人工物(考古資料)の時系列化とその地域比較によって、ヒト社会における戦争と社会複合化のプロセスを復元する。さらに、ヒトの認知と身体がどのようにして戦争という現象を生み、それを媒介に、どのような認知と進化のメカニズムが、集団の複合化と、それによるヒト特有の巨大社会を実現したのかを明らかにする。

2. 研究の目的

本研究は、これまで重視されてこなかった後者(感情や表象の操作を通じて強化された権力によって急速な階層化が進むという内的・認知的側面)に力点を置き、前者(武力による征服によって集団間の統合を促す外的・物理的側面)との相互関係を注視しながら、戦争に関わる人工物(考古資料)の時系列化とその地域比較によって、ヒト社会における戦争と社会複合化の相補的プロセスを復元する。さらに、B02 認知科学班など共同して、ヒトの認知と身体がどのようにして戦争という現象を生み、それを媒介に、どのような認知と進化のメカニズムが、集団の複合化と、それによるヒト特有の巨大社会を実現したのかを明らかにする。このメカニズムの提示をもって、本研究は、本領域研究が目的とする文明創出メカニズムの解明に寄与し、この新しい学術領域から、「人類にとって戦争とは何か」という問いに答えを用意することを最終目的とする。

3. 研究の方法

2022年度までに、項目が整備された戦争と社会複合化およびモニュメントとアートに関わる考古学的データ項目の体系表を最終的に完成させ、A01 モニュメント班およびA02 アート班と協力して具体的な比較検討の作業を確定したのち、戦争・モニュメント・アートの各項目の消長と社会複合化プロセスとの関係性をストーリー化する。同時に、日本列島・北アメリカ・中央アメリカ・南アメリカ・オセアニア各地における調査を最終的に完了し、その成果をもとに上記のストーリーの点検を図る。そのまとめとして毎年4~5回の頻度で藩内の研究成果の共有を目的とする研究会を実施し、1-2回の頻度で総括シンポジウムを実施する。2023年度までに行った上記の成果を、論文集として刊行する。上記の作業に関して、研究代表者の松木武彦は日本列島中央部(とくに瀬戸内と近畿)古墳時代、研究分担者の寺前直人は同地域の弥生時代、藤沢敦は弥生時代~古代の日本列島北部、橋本達也は同時代の古墳時代についてのデータを補足を担当する。さらに研究分担者の市川彰・佐々木憲一・渡部森哉・比嘉夏子および研究協力者の青山和夫・長岡拓也は、それぞれメソアメリカ・北アメリカ・アンデス・オセアニアでの補足調査を踏まえてデータ収集を最終的に完了・整理する。

2023年度には上記作業を補填するために、研究代表者以下のメンバー全員およびA01 モニュメント班とA02 アート班およびB02 脳科学班が合同し、本領域の基幹理論である3元ニッチ構築を軸とした戦争・モニュメント・アートと社会複合化のモデル化を行う。それを踏まえて、社会複合化に関わる戦争のメカニズムの説明を完成させ、文明形成における戦争の人類科学的・歴史的位置付けを最終的に明らかにする。

4. 研究成果

2022年度までに完成させる予定の、戦争と社会複合化およびモニュメントとアートに関わる考古学的データ項目の体系表は2023年度中には完成できなかった。ただし、出ユーラシア地域のうち東アジアを代表する日本列島と、アメリカ大陸を代表するマヤという戦争の痕跡の顕著な2地域の比較表は完了することができた。A01 モニュメント班およびA02 アート班と協力した比較検討の作業については、戦争・モニュメント・アートの各項目の消長と社会複合化プロセスとの関係性をストーリー化することができ、2024年度以降に出版予定の成果本(研究領域全体)において公開する予定である。また、日本列島・北アメリカ・中央アメリカ・南アメリカ・オセアニア各地における調査を最終的に完了し、その成果をもとに上記のストーリーの点検を図りつつ、個別の成果を2025年度刊行予定の本A03班の成果本に公開するところまで進んだ。

上記の作業に関して、研究代表者の松木武彦(図1)と寺前直人は戦争と関連する物質資料の分類と性格を見なおすとともに、日本列島弥生時代のデータは寺前が整理した。さらに、藤沢敦は弥生時代~古代の日本列島北部、橋本達也は同時代の古墳時代についてのデータの補足を行った。さらに研究分担者の市川彰・佐々木憲一・渡部森哉・比嘉夏子および研究協力者の青山和夫・長岡拓也は、それぞれメソアメリカ・北アメリカ・アンデス・オセアニアでの補足調査を踏まえてデータ収集を集め、それをもとに論考を発表した。

国際シンポジウム「戦争のランドスケープと先史社会」では、アメリカ大陸と日本列島の

先史時代の戦争を、最新の考古学の成果をもちいて比較することにより、戦争と社会の関係の本質に迫った。また、分野横断的なシンポジウム「協調と戦争」では、霊長類学、社会心理学、考古学の最新の研究成果を突き合わせ、利他的行動の進化と暴力の関係に注目し、人間社会における戦争の根源を探った(図2)。本研究の最終総括となるシンポジウム「コミュニケーションと戦争」を開催し、生物としての進化の過程に埋め込まれた戦争のルーツ、暴力を発火させ、また鎮める要石としてのコミュニケーション、それが考古資料からどう読み取れるかについて議論を深め、新しい戦争の考古学の可能性を提示した(図3)。

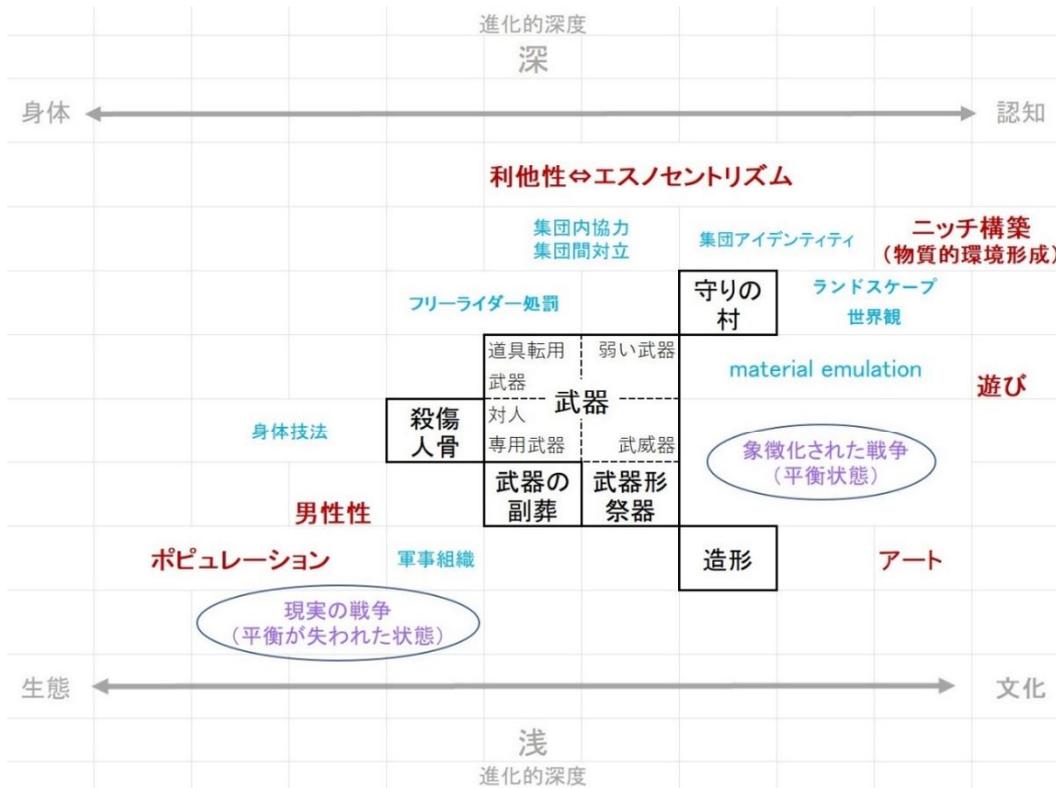


図1 佐原真による「戦争の考古学的証拠」をめぐるヒトの事象と進化的本質

Sunday, 13 November, 2022
9:00 - 12:00
zoom webinar
参加費無料
<https://forms.gle/wRwPTTtHEwEy0bF6>
お申し込みURLもしくはQRコードからお申し込み下さい
【お申し込み】

協調と戦争

人間社会の根源を探る

戦争は人が持つ暴力性によるものか、利他的行動や共感、協調行動が進化した霊長類学、社会心理学、考古学の最新の研究成果を突き合わせ、人間社会における戦争の根源を探る。

OUT OF AFRICA
RIDD
岡山大学

TIMETABLE

9:00
開会挨拶・趣意説明
松本直子【コーディネーター】
岡山大学人類学研究所/動物学専攻

9:10 - 9:45
ヒトらしさの進化と戦争
山本真也
京大大学院研究員 新生物進化センター/霊長類学

9:45 - 10:20
協力する心/戦争する心
高橋伸幸
北海道大学大学院文学研究科
社会心理学研究センター/社会心理学

10:20-10:55
マヤの戦争とパフォーマンス
塚本憲一郎
カリフォルニア大学リバーサイド校 岡山大学人類学研究所 京都府立総合研究センター/メソアメリカ考古学

11:05 - 12:00
コメント＆ディスカッション
松本直子【司会】
岡山大学人類学研究所 総合研究大学院大学/日本考古学

岡山大学 総合研究センター 1-1 TEL. 086-251-7444
岡山大学 総合研究センター 1-1 TEL. 086-251-7444
岡山大学 総合研究センター 1-1 TEL. 086-251-7444

図2 公開シンポジウム「協調と戦争」

【主催】
 新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学(言語研究A03)『軍械の複合化と戦争』
 岡山大学文明動態学研究所
 【連絡先】岡山大学文化科学研究部 (info@kyam@u-oka.jp)

ヒトの進化の奥深くに埋め込まれた戦争のルーツ
 暴力を発火させ、また鎮める要石としてのコミュニケーション
 考古資料にそれをどう読みとるか？
 「戦争の考古学」の新しい地平を開く

SYMPOSIUM
コミュニケーションと戦争

DATE 2023年2月18日(土)
 VENUE 岡山大学文明動態学研究所 + Zoomウェビナー
 一般参加はこちらからお申込み下さい。 <https://x.gd/MzMKq>

QRコード

TIMETABLE

10:00-10:10 松本 武彦
 問題提起「なぜ、コミュニケーションと戦争か？」

10:10-10:50 寺前 直人
 「弱い武器」をめぐりコミュニケーションと弥生時代の抗争

10:50-11:30 橋本 達也
 デモンストレーションとしての古墳築造と武芸具副葬
 -古墳時代の儀礼と戦争の間を考える-

11:30-12:10 渡部 真哉
 戦争の協同と銃争 古代アンデスの事例より

13:20-14:00 比嘉 夏子
 文化表象かつ身体実践としての「戦いの語り」-胡メソアの事例から

14:00-14:40 塚本 憲一郎
 古代マヤにおけるコミュニケーションとしての戦争

14:40-15:20 高橋 伸幸
 集団アイデンティティと協力・攻撃行動

15:30-17:00 ディスカッション

OUT OF EURASIA
 文明動態学

RIDC
 岡山大学
 OKAYAMA UNIVERSITY

PHOTO | ヴェル・アラン / 撮影 菅原 謙 氏

図3 最終総括シンポジウム「コミュニケーションと戦争」

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計64件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 青山和夫	4. 巻 J106-D(6)
2. 論文標題 LiDAR技術とマヤ文明	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 電子情報通信学会論文誌 D	6. 最初と最後の頁 366 ~ 374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14923/transinfj.2022LDI0001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 青山和夫、井上幸孝、吉田晃章、渡部森哉、松本雄一.	4. 巻 26
2. 論文標題 古代アメリカに関する中学・高校教科書問題 中学歴史と高校歴史総合・世界史探究の検討	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 93 ~ 108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 市川 彰	4. 巻 1
2. 論文標題 火山灰が創る景観	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ	6. 最初と最後の頁 125 ~ 143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Ceballos, Xanti, Kenichiro Tsukamoto, Agust?n Ort?z Butr?n, Luis Barba, and Araceli V?zquez Villegas	4. 巻 4 (2)
2. 論文標題 Ancient Maya Standard-Bearers' Foodways: Chemical Residue Analyses of Ceramic Vessels at the Guzm?n Group of El Palmar, Campeche, Mexico.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Mayanist	6. 最初と最後の頁 73 ~ 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Sharpe, Ashley E., and Aoyama, Kazuo	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 Lithic and Faunal Evidence for Craft Production among the Middle Preclassic Maya at Ceibal, Guatemala	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Ancient Mesoamerica	6. 最初と最後の頁 407 ~ 431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0956536122000049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 長岡拓也	4. 巻 1
2. 論文標題 メラネシアにおける巨石遺跡の消長と社会変化 ソロモン諸島ロヴィアナ地域を事例として	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 古代学と遺跡学 坂靖さん追悼論文集	6. 最初と最後の頁 519 ~ 526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 64
2. 論文標題 島内174号 ~ 179号地下式横穴墓の三次元計測	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 島内地下式横穴墓群 えびの市埋蔵文化財調査報告書	6. 最初と最後の頁 29 ~ 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 43
2. 論文標題 島内地下式横穴墓群	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊考古学 別冊	6. 最初と最後の頁 122 ~ 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 2
2. 論文標題 縄文時代像と弥生時代像の相生と相克	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 何が歴史を動かしたのか	6. 最初と最後の頁 19～30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 163
2. 論文標題 縄文後・晩期石製儀器の起源と行方 - 継承・存続・再利用あるいは混入 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 99～106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taube, Karl and Kenichiro Tsukamoto	4. 巻 2
2. 論文標題 Hills of the Ancestors: Copan Temple 22 and Sacred Architecture of the Northern Maya Lowlands	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 When East Meets West: Chichen Itza, Tula, and Postclassic Mesoamerican World, edited by Travis Stanton, Karl Taube, and Jeremy Coltman, Nelda, Marengo	6. 最初と最後の頁 753～790
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 佐々木憲一	4. 巻 1
2. 論文標題 古墳時代中期東国は国家段階か？	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『縄向学の最前線』（桜井市縄向学研究センター設立10周年記念論集）	6. 最初と最後の頁 687～696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 8
2. 論文標題 弥生時代の「戦争」再考 - 佐原戦争論の転回と継承 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 弥生文化博物館研究報告 8 192-197, 2023	6. 最初と最後の頁 192-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 -
2. 論文標題 「古墳」とはなにか - その成り立ちの構造的・広域的再検討 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 纏向学の最前線: 桜井市纏向学研究センター設立10周年記念論集	6. 最初と最後の頁 345-356
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 8
2. 論文標題 弥生時代の「戦争」再考 - 佐原戦争論の転回と継承 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 弥生文化博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 245-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 17
2. 論文標題 考古学で復元する先史時代の戦争	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 メトロポリタン史学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Shin'ya	4. 巻 -
2. 論文標題 Actividades rituales en el Imperio wari: una perspectiva desde la parte norte del Peru;	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Wari: nuevos aportes y perspectivas	6. 最初と最後の頁 131-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Shin'ya	4. 巻 -
2. 論文標題 Canales subterranos en el mundo andino: el caso de la sierra norte del Peru	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Agua, tecnologia y ritual: funcion y cosmologia hidraulica en el mundo prehispanico	6. 最初と最後の頁 105-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Shin'ya and J. Ugaz	4. 巻 -
2. 論文標題 Terlen La Bomba en el valle medio del Jequetepeque: nuevos datos del Horizonte Medio	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Actas del VII Congreso Nacional de Arqueologia	6. 最初と最後の頁 175-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 162
2. 論文標題 九州南部の前方後円墳	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 17
2. 論文標題 古墳時代の甲冑・軍事組織・戦争	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古代武器研究	6. 最初と最後の頁 79-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木憲一	4. 巻 -
2. 論文標題 前方後円墳体制と国家的支配	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 律令制国家の理念と実像	6. 最初と最後の頁 61-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 -
2. 論文標題 ヤジリは武器なのか? - 関東からみた弥生時代のヤジリ論 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南関東の弥生文化 - 東からの視点 - 大阪府立弥生文化博物館令和4年度夏季特別展図録	6. 最初と最後の頁 72-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 -
2. 論文標題 関東地方の弥生時代石器 - 金属器普及を左右した石器システム -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南関東の弥生文化 東アジアの交流と農耕化	6. 最初と最後の頁 203-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 74
2. 論文標題 南関東地方の弥生系高地性集落 - 生業・経済と集団関係 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古代文化	6. 最初と最後の頁 71-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira, Juan Manuel Guerra, Oscar Camacho y Hiroaki Yagi	4. 巻 -
2. 論文標題 Una milenaria historia entre las erupciones volcanicas; el sitio arqueologico San Andres, valle de Zapotitan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Mesoamerica: el estudio de sus procesos de transformacion social desde una perspectiva de larga duracion	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichikawa, Akira and Misaki Fukaya	4. 巻 -
2. 論文標題 Becoming Mesoamerican archaeologists and recognized worldwide: A text mining analysis of Japanese scholarship	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the Studies of Mesoamerican Civilizations: the 40th Anniversary of La Entrada Archaeological Project	6. 最初と最後の頁 157-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山和夫・松木武彦	4. 巻 1
2. 論文標題 古墳文化とマヤ文明：比較考古学研究事始	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文明動態学	6. 最初と最後の頁 21-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/63025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 231
2. 論文標題 日本列島先史-原史段階の社会変化と「環境」- 歴史変化の定量的把握とメカニズム解明に向けての試論 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 211-244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 12
2. 論文標題 日本列島先史・原史時代における戦いと戦争のプロセス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 124-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 -
2. 論文標題 先史日本の争いの起源: 「狭い共感」を昇華できるか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 レジリエンス人類史	6. 最初と最後の頁 196-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢敦	4. 巻 12
2. 論文標題 倭国北縁における材木堀	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 160-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡部森哉	4. 巻 12
2. 論文標題 戦争と儀礼 古代アンデスの事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 197-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seike, Hiroki, and Shinya Watanabe	4. 巻 129
2. 論文標題 A case study of cut marks on camelid bones from the El Palacio site in the northern highlands of Peru: implication of butchering activities	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 151-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡部森哉	4. 巻 -
2. 論文標題 建国しなかった人々 ペルー北高地のカハマルカ文化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アンデス文明ハンドブック	6. 最初と最後の頁 229-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡部森哉	4. 巻 -
2. 論文標題 インカとは誰か?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アンデス文明ハンドブック	6. 最初と最後の頁 284-301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 -
2. 論文標題 三の丸尚蔵館所蔵金銅装衝角付冑とそれに関わる推論 水野忠央と橋本市陵山古墳をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 技と慧眼 塚本敏夫さん還暦記念論集	6. 最初と最後の頁 125-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 -
2. 論文標題 古墳時代における甲冑副葬の意義	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 古墳文化基礎論集	6. 最初と最後の頁 253-262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本達也	4. 巻 -
2. 論文標題 原田3号地下式横穴墓副葬品の評価と被葬者像	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 原田2・3号地下式横穴墓	6. 最初と最後の頁 73-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木憲一	4. 巻 -
2. 論文標題 北アメリカにおける先史時代社会の諸相	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 岩波講座世界歴史14 南北アメリカ大陸 ~ 17世紀	6. 最初と最後の頁 71-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 12
2. 論文標題 弥生・古墳時代における長柄武器の変遷	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報人類学研究	6. 最初と最後の頁 137-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira	4. 巻 33
2. 論文標題 Monumental Structures and Volcanic Activities: Excavating the Campana at San Andres in the Zapotitan Valley, El Salvador	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Latin American Antiquity	6. 最初と最後の頁 135-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira	4. 巻 2
2. 論文標題 Conservacion de arquitectura de tierra en San Andres, El Salvador	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arquitectura Mesoamericana de Tierra	6. 最初と最後の頁 319-343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira, Juan Manuel and Guerra Clara	4. 巻 2
2. 論文標題 Arquitectura de tierra en la frontera sureste Maya: San Andres en el valle de Zapotitan, El Salvador, C.A.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arquitectura Mesoamericana de Tierra	6. 最初と最後の頁 213-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira	4. 巻 12
2. 論文標題 Warfare in Pre-Hispanic El Salvador	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annual Papers of the Anthropological Institute	6. 最初と最後の頁 178-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira, Kenji Kanegae, and Kazuaki Nanamura	4. 巻 7
2. 論文標題 Pottery production in salt workshops: petrographic and XRF analyses of pottery from Nueva Esperanza, El Salvador	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 STAR: Science & Technology of Archaeological Research	6. 最初と最後の頁 49-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 151
2. 論文標題 グローバル・ヒストリーと日本考古学：弥生・古墳時代の世界史的位置	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 101-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦・近藤康久	4. 巻 3
2. 論文標題 岡山平野における居住高度 の通時的推移と気候変動 弥生・古墳時代を対象に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 気候変動から読みなおす日本史	6. 最初と最後の頁 131-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 91
2. 論文標題 内なる戦争：表象でとらえる考古学	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 科学	6. 最初と最後の頁 182-185
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松木武彦	4. 巻 231
2. 論文標題 日本列島先史- 原史段階の社会変化と「環境」- 歴史変化の定量的把握とメカニズム解明に向けての試論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 211-243
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Shinya, and Moro, J. U.	4. 巻 -
2. 論文標題 Informe Final del Proyecto de Investigacion Arqueologica Terlen La Bomba -Cajamarca. Temporada 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ministerio de Cultura	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 3
2. 論文標題 冨形埴輪研究序説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 生産の考古学	6. 最初と最後の頁 141-159
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira, and Rodas, A.	4. 巻 42
2. 論文標題 Manufacturing Adobe Bricks in Mesoamerica: Archaeological and Experimental Analysis from San Andres, El Salvador	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mexicon	6. 最初と最後の頁 153-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichikawa, Akira	4. 巻 12
2. 論文標題 Warfare in pre-Hispanic El Salvador	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annual Papers of the Anthropological Institute	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa, Akira	4. 巻 96
2. 論文標題 Human response to Ilopango Tierra Blanca Joven Eruption: Excavations at San Andres	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Antiquity	6. 最初と最後の頁 372-386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15184/aqy.2021.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山和夫・嘉幡 茂・塚本憲一朗・市川 彰・福原弘識・長谷川悦夫	4. 巻 22
2. 論文標題 メソアメリカの複雑社会の起源・形成・衰退に関する比較文明論研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 3-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 寺前直人	4. 巻 150
2. 論文標題 弥生時代：新石器弥生時代と初期金属器弥生時代	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 46-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡部森哉	4. 巻 9
2. 論文標題 首都と地方社会 古代アンデス諸国家における在地性について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人類学研究所研究論集	6. 最初と最後の頁 114-134
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計90件（うち招待講演 25件 / うち国際学会 38件）

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 マヤ文明：最新の研究成果と意義
3. 学会等名 2023年度駒澤史学会大会記念講演（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 「謎と神秘」のマヤ文明の実像に迫る
3. 学会等名 茨城大学図書館土曜アカデミー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 マヤ文明の研究最前線：起源を求めて
3. 学会等名 NHK文化センター柏教室（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 メソアメリカ文明の実像に迫る：マヤ文明、テオティワカン文明とアステカ文明
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター新宿教室（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 マヤ文明への招待. いきいき大学
3. 学会等名 千葉市民会館大ホール（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫、井上幸孝、吉田晃章、渡部森哉、松本雄一
2. 発表標題 古代アメリカの教科書問題：中学歴史と高校歴史総合・世界史探究の改善を目指して
3. 学会等名 古代アメリカ学会第28回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 マヤ文明の景観と戦争の通時的变化
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議 (ポスター発表)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 青山和夫
2. 発表標題 マヤ文明の起源と形成
3. 学会等名 アンデス文明研究会定例講座, 東京外国語大学本郷サテライト (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 市川 彰
2. 発表標題 古代都市・遺跡 - 中米に栄えた古代マヤ文明への誘い
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター名古屋教室, (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 市川 彰
2. 発表標題 環境変化は文明の衰退や崩壊を招くのか? - マヤ南部地域諸遺跡の発掘調査
3. 学会等名 いにしえの世界を探る - 金沢大学古代文明・文化資源学フォーラム2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ichikawa Akira
2. 発表標題 Everything comes together: The emergence of saltwork mounds at Nueva Esperanza on the Pacific coast of El Salvador
3. 学会等名 8th Annual Rocky Mountain Pre-Columbian Association Colloquium (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 市川 彰
2. 発表標題 古代メソアメリカ文明の盛衰と気候変動
3. 学会等名 南山大学ラテンアメリカ研究センター主催・外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科共催講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 市川 彰
2. 発表標題 大千ばつとメソアメリカ古典期社会 - オアハカ地域を事例として
3. 学会等名 アンデス文明研究会2023年冬季講座 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤明・長岡拓也
2. 発表標題 空挺LiDARによるナンマトル遺跡とポーンベイ島の調査報告
3. 学会等名 日本オセアニア学会第41回研究大会, 国立民族学博物館
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 佐々木憲一
2. 発表標題 北アメリカのマウンドについて
3. 学会等名 G7大阪・堺貿易大臣会合開催記念 古墳サミット（於 大阪府堺市 フェニーチェ堺）（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 佐々木憲一
2. 発表標題 GHQによる行政発掘の日本考古資料
3. 学会等名 交響する古代14：古代東アジア社会の史資料 モノとテキスト II（於 明治大学）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐々木憲一
2. 発表標題 前方後円墳の誕生
3. 学会等名 纏向学研究センター東京フォーラムIX（於 有楽町よみうりホール）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐々木憲一
2. 発表標題 Legacy Collections: Japanese Archaeological Artifacts in the National Museum of Natural History Collection
3. 学会等名 U.S.A.-Japan Museum Cooperation: Curatorial and Scholarly Exchange（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sasaki, Ken'ichi
2. 発表標題 Kofun in World Historical Context
3. 学会等名 南カリフォルニア大学・明治大学学術交流(於 南カリフォルニア大学史学科)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sasaki, Ken'ichi
2. 発表標題 Mound building in eastern peripheral region of Japan
3. 学会等名 第3回European Association for Asian Art and Archaeology. (於スロヴェニア共和国リュブリャナ大学)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sasaki, Ken'ichi
2. 発表標題 Mississippian Mounds from the Perspective of the Japanese Kofun Period Archaeology
3. 学会等名 出ユーラシアにおける王権の創成：超越的力出現のメカニズム (Meiji University) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sasaki, Ken'ichi
2. 発表標題 Legacy Collections: Japanese Archaeological Artifacts in the National Museum of Natural History Collection
3. 学会等名 U.S.A.-Japan Museum Cooperation: Curatorial and Scholarly Exchange (明治大学)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tsukamoto, Kenichiro, Luz Evelia Campa?a Valenzuela, Octavio Q. Esparza Olgu?n y Daniel Salazar Lama
2. 発表標題 Los se?ores de Kaanul y El Palmar: Una relaci?n pol?tica singular
3. 学会等名 XII Congreso Internacional de Mayistas, Mexico City (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Octavio Q. Esparza Olgu?n y Kenichiro Tsukamoto.
2. 発表標題 M?s all? de las fronteras. El Palmar y sus v?nculos suprarregionales durante el per?odo cl?sico
3. 学会等名 XII Congreso Internacional de Mayistas, Mexico City (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tsukamoto, Kenichiro
2. 発表標題 Materialization of Authority in Classic Maya Dynasties
3. 学会等名 The Creation of Royalty in "Out of Eurasia" civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power, Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塚本憲一郎
2. 発表標題 エル・バルマール王朝における戦争と儀礼
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明 第9回全体会議(ポスター発表)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人・渡部森哉・松本直子・橋本達也・藤澤敦・山口徹
2. 発表標題 攻撃と文明 対談2 政治化する武器 我々とかれらの区分
3. 学会等名 新学術領域研究・出ユーラシアの統合的人類史学」第10回全体会議
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 長岡拓也
2. 発表標題 ソロモン諸島ロヴィアナ地域における儀礼化した首狩りと政治的發展
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明- 第10回全体会議(ポスター発表)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 橋本達也
2. 発表標題 島内武人とヤマト政権
3. 学会等名 えびの市歴史民俗資料館 企画展講演会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Higa, Natsuko
2. 発表標題 mbodiment of Local Ideology through Everyday Practice: Analysis of Giving and Sharing in Tonga.
3. 学会等名 Localization and Globalization Symposium(Feng Chia University, Taiwan)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 比嘉夏子
2. 発表標題 攻撃と文明, 対談3 攻撃の表象・行為とモノの相互浸潤科研費助成事業(新学術領域)
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学 文明創出メカニズムの解明 第10回全体会議
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Watanabe, Shinya
2. 発表標題 Arqueolog?a en el Per?
3. 学会等名 Arqueolog?a de Am?rica II, Carrera de Arqueolog?a, Universidad Veracruzana en Xalapa, online (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Watanabe, Shinya
2. 発表標題 Inca Kings and Material Evidence
3. 学会等名 The Creation of Royalty in "Out of Eurasia" civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power 出ユーラシアにおける王権の創成：超越的力出現のメカニズム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Watanabe, Shinya
2. 発表標題 Din?mica social en la regi?n Cajamarca durante el Horizonte Medio
3. 学会等名 Charla Magistral. Segunda charla del mes de septiembre, PUCP (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 アンデス文明の起源
3. 学会等名 古代アンデス文明 起源と展開（全3回）岩倉市生涯学習センター（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 プレ・インカの諸王国
3. 学会等名 古代アンデス文明 起源と展開（全3回）岩倉市生涯学習センター（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 インカ帝国の成立
3. 学会等名 古代アンデス文明 起源と展開（全3回）岩倉市生涯学習センター（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Watanabe, Shinya
2. 発表標題 Jorge Luis Ruiz Barcellos, and Juan Ugaz. (2023). Segunda temporada de investigaciones en el sitio Terl?n-La Bomba, valle medio de Jequetepeque, norte del Per?
3. 学会等名 X Congreso Nacional de Arqueolog?a, Museo Nacional de Arqueolog?a, Antropolog?a e Historia del Per?, Lima (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 ワリ期に何が起こっていたのか？ ペルー北部の事例より
3. 学会等名 古代アメリカ学会第28回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 長岡朋人, 渡部森哉
2. 発表標題 ペルー、サンタ・デリア遺跡から出土した人骨の人為的損傷
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学 - 文明創出メカニズムの解明 - 第10回全体会議
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 古代アンデスにおける神
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明 第9回全体会議(ポスター発表)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 インカ帝国研究とクロニカ
3. 学会等名 パネルディスカッション「クロニカから古代アメリカ文明を読む」(招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 研究史からみた脱高地性集落論 比較考古学への展望「研究史からみた脱高地性集落論 比較考古学への展望」
3. 学会等名 「高地性集落」論のいま-半世紀ぶりの研究プロジェクトの成果と課題-(同志社大学今出川キャンパス)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 東国からみた百舌鳥・古市古墳群 - 1600年前の視点と令和の視点 -
3. 学会等名 「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産シンポジウム世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の「おもしろさ」に触れるには，羽曳野市立生活文化情報センター（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 弥生時代中期から後期の社会構造と変化 - 継承と断絶、あるいは拒絶 -
3. 学会等名 第23回播磨考古学研究集会「播磨から弥生社会を問いなおす」（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 関東地方の弥生系高地性集落
3. 学会等名 むきばんだ遺跡土曜講座（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 階層化にあらがう弥生時代の墓制
3. 学会等名 「弥生研究の最前線」連続シンポジウム第3回【墓制と社会】，大阪府立弥生文化博物館（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 日本列島における初期農耕社会の儀礼 - 銅鐻の成立背景にみる縄文儀礼の影響 -
3. 学会等名 嶺南考古学会2023年度学会定期学術会議，慶北大学校（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsugi, Takehiko
2. 発表標題 Cultural reconstruction and social change of Japanese archipelago in the 1st millennium BCE
3. 学会等名 日本考古学協会第88回総会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsugi, Takehiko
2. 発表標題 Cultural transformation of the Korean peninsula and the Japanese archipelago in the ancient World System centred on the Han Dynasty
3. 学会等名 9th Annual Conference of Society for East Asian Archaeology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsugi, Takehiko
2. 発表標題 Emergence and development of material manifestation of human spatial cognition: division, segmentation and numbers embedded in the design of the material world
3. 学会等名 WAC9:9th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsugi, Takehiko
2. 発表標題 Monument, ritual, worldview, and social transformation in prehistoric and protohistoric Japan from a maritime and water perspective
3. 学会等名 International Conference in Hawaii, the USA March 02-03, 2023 Trekking Shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Watanabe, Shin'ya
2. 発表標題 Arqueologia ;a andina: una introduccion
3. 学会等名 Arqueologia de America II, Carrera de Arqueologa (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Watanabe, Shin'ya
2. 発表標題 Arqueologia andina: una introduccion 2
3. 学会等名 Arqueologia;a de America II, Carrera de Arqueologia (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Watanabe Shin'ya
2. 発表標題 El Horizonte Medio en Cajamarca
3. 学会等名 III Ciclo Virtual de Charlas Arqueologicas PUCP (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Watanabe Shin'ya
2. 発表標題 Archaeological Research in the Cajamarca Region, Peruvian Northern Highlands
3. 学会等名 4th Chile-Japan Academic Forum (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 古代アンデスにおける戦争と社会
3. 学会等名 古代アメリカ学会第27回研究大会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 日本列島における都市なき権力形成を支えた儀礼構造
3. 学会等名 Musee de Prehistoire du Grand-Pressigny日仏考古ワークショップ:ヨーロッパと日本との比較考古学 - 国家形成と文化遺産の保護と活用 - (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ichikawa, Akira
2. 発表標題 Mesoamerican Salt Workshop buried by the TBJ Eruption: Archaeological investigation at Nueva Esperanza, Pacific Coast of El Salvador
3. 学会等名 4th International Congress on the Anthropology of Salt (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ichikawa, Akira
2. 発表標題 Constructing a chronological insight into domestic space at Rio Viejo, Oaxaca during the Classic-Postclassic transition: The Preliminary results of Proyecto Rio Verde 2022
3. 学会等名 7th Annual Rocky Mountain Pre-Columbian Association Research Colloquium Current Research in the Ancient Americas (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ichikawa, Akira, Arthur Joyce, Saul Rancano, Nicholas Puentes, Nobuhiko Aiba and Andrea Nava
2. 発表標題 Late Classic and Early Postclassic residential spaces of Rio Viejo, Oaxaca: Preliminary Results
3. 学会等名 88th Annual Meeting of Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Gabrielle Perry, Raymond Mueller, Arthur Joyce and Akira Ichikawa
2. 発表標題 The Impact of Late Classic-Early Postclassic Anthropogenic Landscape Change in the Lower Rio Verde Valley, Oaxaca
3. 学会等名 88th Annual Meeting of Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松木武彦
2. 発表標題 あそびの起源 ホモ・サピエンスの社会形成
3. 学会等名 総研大文化フォーラム2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Matsugi,Takehiko
2. 発表標題 The Last 200 Years of the first millennium BCE as the “Axial Age” in prehistoric JAPAN
3. 学会等名 European Association of Archaeologists 27th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Watanabe,Shin'ya
2. 発表標題 Cultural Diversity and Its Implications: A Case Study from Middle Horizon Cajamarca
3. 学会等名 Northern Highlands of Peru. 86th Annual Meeting of the Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Watanabe Shin'ya
2. 発表標題 Comments on Milosz Giersz “Wari in the Northern Sierra and on the Coast: Its Ideological Intent”. Empire of the Ancestors: The Wari of the Middle Horizon
3. 学会等名 Dumbarton Oaks Virtual Webinar (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 ワリ期の建築について
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 橋本達也
2. 発表標題 古墳時代の甲冑・軍事組織・戦争
3. 学会等名 第17回古代武器研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 比嘉夏子
2. 発表標題 物のやりとりをめぐる齟齬ともつれあい：接触期における西洋人とトンガ人の事例
3. 学会等名 オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 比嘉夏子
2. 発表標題 「何かとともに」人類学する
3. 学会等名 京都人類学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比嘉夏子
2. 発表標題 企業において「人類学する」可能性：「メッシュワーク」の活動から
3. 学会等名 日本文化人類学会関東地区研究懇談会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木憲一
2. 発表標題 考古学からみた継体朝倭国の対外交流
3. 学会等名 百済研究所国際学会議（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中裕・佐々木憲一
2. 発表標題 古墳時代常陸における国家形成過程
3. 学会等名 日本考古学協会第87回総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 関東地方水稲農耕定着期における石器の変遷 - 外部依存と生産・消費システム -
3. 学会等名 日本考古学研究会第87回総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 日本の古墳時代の王陵と武寧王陵
3. 学会等名 武寧王陵発掘調査50周年 記念国際学術大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Watanabe, Shin'ya
2. 発表標題 Cultural Diversity and Its Implications: A Case Study from Middle Horizon Cajamarca
3. 学会等名 86th Annual Meeting of the Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡部森哉・ウガス, フアン
2. 発表標題 北部ペルーにおけるワリ期の遺跡テルレン＝ラ・ボンバの発掘調査概報
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回研究大会,
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Watanabe, Shin'ya and Ugaz, J
2. 発表標題 Terlen La Bomba Valle Medio Del Jequetepeque: Nuevos Datos Del Horizonte Medio
3. 学会等名 VII Congreso Nacional de Arqueología (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 炭素年代と紀元後1～3世紀における日本列島の考古学
3. 学会等名 日本文化財科学会第37回大会・ワーキンググループ第4回土器科学分析研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松木武彦
2. 発表標題 弥生時代から古墳時代へ - 認知プロセスとグローバル史の視点から
3. 学会等名 考古学研究会東京例会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松木武彦
2. 発表標題 日本列島の古墳出現期における地域間ネットワーク
3. 学会等名 国立中央博物館学術シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ICHIKAWA, Akira
2. 発表標題 Changing Perspectives on the Long-lived Maya Center Chalchuapa
3. 学会等名 5th Annual Rocky Mountain Pre-Columbian Association Research Colloquium Current Research in the Ancient Americas（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ICHIKAWA, Akira
2. 発表標題 How Ancient People Responded to the Eruption of the Ilopango Volcano: Monumental Architecture and Volcanic Activities in the Zapotitan Valley
3. 学会等名 10th Annual South-Central Conference on Mesoamerica (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 寺前直人
2. 発表標題 都市なき倭人は国家をめざしたのか - 弥生・古墳都市論と国家形成論の現在
3. 学会等名 南山大学人類学研究所2019年度第4回公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 HIGA, Natsuko
2. 発表標題 Cognitive Aspects of Giving: Influence of Social Attention on Gifting Practices and Sharing Behaviors
3. 学会等名 East Asian Anthropological Association Annual Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 WATANABE, Shin'ya
2. 発表標題 Actividades rituales en el Imperio wari: una perspectiva desde la parte norte del Peru;. Paper presented at the Coloquio Internacional
3. 学会等名 "Wari, nuevos aportes y perspectivas" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 WATANABE, Shin`ya
2. 発表標題 Sitios expuestos y sitios enterrados: una consideracion sobre turismo arqueologico
3. 学会等名 VI Congreso Nacional de Arqueologia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 WATANABE, Shin'ya
2. 発表標題 Cajamarca durante los periodos Wari e Inca
3. 学会等名 Entre el pasado y el presente: Estudios y proteccion del patrimonio cultural en la costa y sierra norte del Peru; Simposio conmemorativo por los 120-241;os de la inmigracion japonesa (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清家大樹・渡部森哉
2. 発表標題 ペルー北部高地エル・パラシオ遺跡から出土した動物骨資料について
3. 学会等名 古代アメリカ学会第24回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡部森哉
2. 発表標題 中期ホライズン期の社会動態 ペルー北部の事例
3. 学会等名 古代アメリカ学会第24回研究大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 青山和夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 講談社現代新書	5. 総ページ数 320
3. 書名 古代アメリカ文明：マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像	

1. 著者名 青山和夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 宝島社新書	5. 総ページ数 192
3. 書名 カラー版 マヤと古代メキシコ文明のすべて	

1. 著者名 市川 彰	4. 発行年 2023年
2. 出版社 新泉社	5. 総ページ数 96
3. 書名 メソアメリカ文明ガイドブック	

1. 著者名 渡部森哉	4. 発行年 2024年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 360
3. 書名 インカ帝国 歴史と構造	

1. 著者名 Arkush,E., Borzunov,V.E., Chechushkov,I.V., Earley-Spadoni,T., Kim,N.C., Kohet,L., Matsugi,T., Nichols,K., Quick,R.S., Scholtus,L., & J.Williams / Ikehara-Tsukayama, H. & J.C.Vargas Ruiz (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University Press of Colorado	5. 総ページ数 308
3. 書名 Global Perspectives on Landscapes of Warfare	

1. 著者名 松木武彦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 256
3. 書名 はじめての考古学	

1. 著者名 北川亘太, 比嘉夏子, 渡辺隆史	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 250
3. 書名 地道に取り組むイノベーション - 人類学者と制度経済学者がみた現場	

1. 著者名 松木武彦, 近藤二郎, 林俊雄, 關雄二, 清家章, 杉山三郎, 佐々木憲一, L.E.ブラウン, S.ケイナー, 上野祥史, 松本直子, 福永伸哉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 265
3. 書名 日本の古墳はなぜ巨大なのか: 古代モニュメントの比較考古学	

1. 著者名 松木武彦、福永伸哉、佐々木憲一、近藤二郎、林俊雄、関雄二、杉山三郎、ルーク・エジントン＝ブラウ ン、サイモン・ケイナー、上野祥史、咸舜*、クリス・スカー、清家章、松本直子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 265
3. 書名 松木武彦・福永伸哉・佐々木憲一編『日本の古墳はなぜ巨大なのか - 古代モニュメントの比較考古学 -	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤澤 敦 (Fujisawa Atsushi) (00238560)	東北大学・学術資源研究公開センター・教授 (11301)	
研究分担者	渡部 森哉 (Watanabe Shin'ya) (00434605)	南山大学・人文学部・教授 (33917)	
研究分担者	比嘉 夏子 (Higa Natsuko) (00721565)	岡山大学・文明動態学研究所・客員研究員 (15301)	
研究分担者	橋本 達也 (Hashimoto Tatsuya) (20274269)	鹿児島大学・総合科学域共同学系・教授 (17701)	
研究分担者	佐々木 憲一 (Sasaki Ken'ichi) (20318661)	明治大学・文学部・専任教授 (32682)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	寺前 直人 (Teramae Naoto) (50372602)	駒澤大学・文学部・教授 (32617)	
研究分担者	市川 彰 (Ichikawa Akira) (90721564)	金沢大学・古代文明・文化資源学研究所・准教授 (13301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関